

在宅医療講演会

山中光茂医師

慶應義塾大学法学部

群馬大学医学部卒。

ケニアで医師としてエイズ対策プロジェクトの立ち上げに2年間携わる。

2007年に当時全国最年少市長として松阪市長に就任し2期務める。

2018年しろうひが在宅診療所を開設。

現在、がんの終末期など重症度の高い患者を1500人以上診察し、年間250人以上の看取りを行っている。

- 重い患者も診る
- 患者の苦しみを取る
- 家族に介護負担をかけない
- 夜間も土日も往診する
- おひとり様でも家で看取れる

山中光茂医師に聞く
当たり前前の幸せを感じられる在宅医療へ！

日時：5月17日（土）13：30～15：30（開場12：30）

会場：スターツおおたかの森ホール

TXおおたかの森駅下車徒歩1分 公共交通をお使いください。

申込：電話、メール、QRコードのいずれかで

04-7152-1275（酒井）

nk.ansinnet@gmail.com

（団体でお申し込みの方は裏面の団体票をお使いください。）

参加費：500円（当日受付にて）

主催：流山高齢者安心ネット

後援：流山市、流山市医師会、流山市社会福祉協議会

申込QRコード



講演会次第

13:30 基調講演 山中光茂医師に聞く
「当たり前前の幸せを感じられる在宅医療へ！」

14:40 休憩タイム

14:50 山中先生と意見交換 with 在宅医療・介護専門家、一般市民

山中先生にご質問のある方は事前にメールで受け付けます。nk.ansinnet@gmail.com
会場でも受け付けます。

登壇者



訪問診療医
山室真澄



訪問看護師
石井智枝



ケアマネジャー
岡村佳恵



生涯大学
原 英司

山中光茂医師の著書ご紹介



「余命わずかの幸せ」

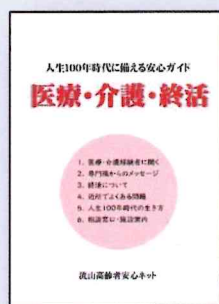
24 時間、夜間も土日も往診する名医。「寂しい最期」「苦痛の最期」から「安心する最期」へ生老病死は、どんな方にも必ず訪れるものです。



小説「しろひげ在宅診療所」

最期(さいご)まで寄り添いたい。夜の歌舞伎町やケニアの島で、最年少の市長として、そして在宅医として、運命に流され、人の縁をつなぎ、かけがえのない人生を共に生きる物語。(書き下ろし長編)

流山高齢者安心ネット制作の冊子「医療・介護・終活」 厚生労働省お薦め！



厚生労働省から、お褒めの言葉をいただきました！

生老病死は、どんな方にも必ず訪れるものです。厚生労働省においては、できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援など、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。こうした中で、地域の様々な関係者の関与のもと、高齢者の方々の尊厳の保持を図りつつ、自立生活を支えることは大変重要であり、本事例集に紹介されているような取組も総合的に進めながら、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進していきたいと思ひます。

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

団体で申し込まれる方は、この票を所属団体にお渡しください。

氏名		所属団体/居住地区	
電話番号			
メールアドレス			